

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

番号	1	テーマ	浜田城・海浜公園等観光資源の活性化策
氏名	たけした ひろし 竹下 洋		
内容	浜田城址の本丸から見下ろす風景が雑木林のために見下ろすことができない。最近、米子城址など戦略的に観光資源として使うのがTV等でよく取り上げられているが、浜田市は今後についてどう考えているのか。本丸跡地の見晴らしをよくし、観光拠点としてアピールするのはどうか。 海浜公園は県の管轄ではあるが、「〇〇禁止」看板があまりに多く、県費を使いながら工夫が見られないのは残念だ。景観がとても良い場所が数カ所あるので、フォトコンテストをしたり、記念碑等を建てて写真スポットとして活用するのはどうか。		
(対応) 浜田城址については総務文教委員会で対応協議する。海浜公園についてはいただいた意見を公園を管理している指定管理者へ伝える。 (対応先協議結果) 海浜公園については、いただいた意見を公園を管理している指定管理者に報告いたしました。指定管理者からは、公園設置者である島根県に内容を伝え、対応協議していただくようお願いするとの回答をいただいております。 【総務文教委員会】 城山（浜田城址）は文化財に指定されており、県の指定等により伐採などの行為には一定の制限があります。 本丸跡地からの見晴らしの改善については、これまでの経緯や現在の管理状況を踏まえ、樹木伐採の可否や条件について正確に把握する必要があります。 今後、教育委員会と協議を行い、伐採に関する現状の課題や見解を確認し、必要な対応を求めてまいります。			

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

番号	2	テーマ	教育の重要性について
氏名	あもう 天羽 たかひこ 貴彦		
内容	社会は常に変化し、その変化を形作るのは今までの教育を受けてきた私たちです。 つまり、今の社会がどのように進化し、持続可能なものとなるかは、教育への投資によって大きく左右されます。 特に現代の AI や IoT の進化、グローバル化や多様性の時代では、単なる知識の習得ではなく、問題解決力や創造力、適応力が求められます。 そのため、教育のリビルドには単にカリキュラムの変更だけでなく、学習の環境や方法の革新も必要になると考えます。		
(対応) 総務文教委員会で対応協議する。 (対応先協議結果) 教育の在り方に関するご提言は、現代の社会課題に即した重要な視点を含むものと受け止めています。 AI や IoT の進展、多様性の尊重など、時代の変化に対応する力を育むためには、教育内容だけでなく、学びの環境や方法の見直しも必要であるとのことご意見は、大変示唆に富んだものです。 テーマが広範であることから、直ちに具体的な対応を講じることは難しい面もありますが、ご発言の趣旨を整理の上、教育委員会と意見交換を行い、今後の取組方向について共有してまいります。			

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

番号	3	テーマ	限界集落における、活動状況のスリム化
氏名	むかい みつき 向井 満樹		
内容	・ 現状の問題点 ・ 高齢化に伴う、活動範囲の限界（例えば、農地維持管理、地域内の役員役職対応） ・ 現状に合った活動の見直し ・ 従来型の組織の守備範囲の見直し ・ 行政最小単位の地区の活用 ・ 行政最小単位の地区の活動支援		
（対応）総務文教委員会で対応協議する。 （対応先協議結果） 中山間地域における地域活動の担い手不足や、従来型の活動形態が現状にそぐわなくなっているとのこと指摘は、今後の地域運営において重要な課題であると受け止めています。 地域の実情に応じた活動の見直しや、行政最小単位の地区の活用・支援のあり方については、現在浜田市が実施している「まちづくり総合交付金」や「地域支え合い支援制度」などの支援制度を、より実態に即した形に見直していく必要があるとの観点から、これらの制度を所管するまちづくり社会教育課と協議してまいります。			

番号	4	テーマ	参加型のイベントがしたい
氏名	まつかわ しょうこ 松川 祥子		
内容	私は浜田市に住んでいて、イベントが少ないと感じています。調べてみると、年間で約 40 ものイベントがあり、意外と多いことが分かりました。ではなぜ少ないと感じていたのか考えてみたところ、参加型のものが少ないのではないかと思います。40 のイベントの内容はほとんどが神楽やステージイベントなどの見て楽しむものでした。私たち市民や若者が実際に体験できるものがもっとあると良いと思いました。例えば、スタンプラリーや宝探しなど街をまきこみ、商店街の活性化にもつなげられると良いと思います。		
(対応) 産業建設委員会で対応協議する。 (対応先協議結果) 浜田市に対して、参加型イベントの計画の検討と、現在浜田市が行っているイベントへオープン参加できるよう検討することを伝えます。			

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

番号	5	テーマ	「ミライ☆メーカー浜田」
氏名	ふるかわ 古川 ひろみち 弘道		～子ども×若者×地域が相乗効果を生む循環モデルを～
内容	「浜田をポジティブに」をキーワードに、子どもたちや若者のやってみたいことを、大人が本気で実現していく取組を考える。 ○子ども×若者が主役になれる 3 つの取り組み ①【小中学校】 今やってみたいことまたは将来やってみたいことを 1 校 1 校の「夢ボード」に書いてもらい市や企業がその夢ボードを実現していく。 ●自分の夢を、大人たちが実現してくれた姿を見ることで「憧れ」や「浜田ってすごい」が生まれます。 ②【高校】 生徒がミニ会社を起業し、商品企画→製造→商売→決算までを実体験してみる。 ●実際に仕事を体験することで、仕事の仕組みを理解し、働くことのすごさや興味関心が増し、地元での企業や就職につながる。 ③【大学】 小・中・高校時代にあったらよかった遊び場、店舗を大学生がプロデュースし、空きスペースや、空き家等で期間限定の運営をする。 ●自分たちが過ごしてきた時代のことなのでアイデアが生まれやすいことと、近い年代のかかわりの中で、笑顔や異年齢児とのコミュニケーションが生まれ、大学生には感謝と憧れが向けられる。それ以外の子どもたちには居場所や遊び場が提供される。 参加した大人や市の職員・企業については「ミライ☆メーカー」バッチや認定書を交付し、子どもたちの為に本気になった証を誇れるようにする。企業にとってもPRや広告になり得ることとなります。「バッチは”動く広告塔”もらった子どもも、支えた大人も、身に着けて歩くたび浜田の未来をPRします。” ミライ☆メーカー”をまちじゅうに」増やしましょう」		
(対応) 個人一般質問で取り上げる（大谷学議員）。			

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

番号	6	テーマ	救命講習の定期開催について
氏名	ふじた 藤田 あすか 明日華		
内容	私は浜田市で定期的な救命講習を行った方が良いと思います。理由は、私が先日新聞を読んでいる時に安来市で年間約 90 回の救命講習が行われていることを知り、浜田市でも行うことで助けられる命が増えると思ったからです。調べてみると、浜田市は定期開催ではなく学校や職場単位で申し込みば講習を受けられるという現状でした。安来市は講習開催の 1 カ月前に申し込みば講習を受けられるそうです。安来市は浜田市に比べて定期開催のため受講しやすい雰囲気を感じました。ぜひ、浜田市でも定期開催を検討していただきたいです。		
(対応) 総務文教委員会で対応協議する。 (対応先協議結果) 浜田市においては現在、救命講習は、主に学校や職場、地域などの団体単位での申込みにより実施されています。 ご指摘のように、他市では個人が参加できる定期講習が実施されており、受講の機会が広がっている例もあります。 こうした点から、地域や団体といった枠にとらわれず、個人が参加できる救命講習の定期開催には一定の意義があると受け止めています。 今後、消防本部と協議を行い、個人参加型の定期講習の実施が可能性や体制、課題を含めて検討し、実施できるよう求めてまいります。			

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

番号	7	テーマ	島根県立大学 浜田キャンパス学生の家賃補助金
氏名	もり 森 こうすけ 洸介		
内容	浜田市の家賃補助金について		
(対応) 総務文教委員会で対応協議する。 (対応先協議結果) 島根県立大学浜田キャンパスの学生に対する家賃補助についてのご意見は、若者の定住促進や学びの環境整備の観点からも、重要な課題であると受け止めています。浜田市としても、学生の皆さんが暮らすアパート等の家賃の高さについては認識しており、過去には業界に対し「学生の賃貸料に可能な限りの配慮をお願いしたい」との文書を出した経緯もあります。 現時点では、家賃に対する直接的な補助制度を設けることは難しい状況ですが、一方で、学生の生活を支える取組として、学生の意見を反映した「交通支援事業」や「ワンコインバス」などの施策を実施しています。 今後も、いただいたご意見を参考に、若者に選ばれるまちづくりを進めてまいります。			

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

番号	8	テーマ	浜田市のサードプレイスについて
氏名	いのうえ 井上 こういちろう 弘一朗		
内容	浜田市では若年人口が過去 10 年で約 32%減少し、高校生・大学生ともに「居場所がない」「遊べる場所がない」との声があります。私たち島根県立大学の学生を中心に、高校生と連携し、商店街の空き店舗等を活用したチャレンジショップ型サードプレイスを提案します。若者が地域製品の販売やイベントを通じて実践的に学び、地域に貢献できる場です。クラウドファンディングや補助金を活用し、持続可能な地域づくりを目指します。		
(対応) 総務文教委員会・産業建設委員会に対応協議する。 (対応先協議結果) 【総務文教委員会】 商店街の空き店舗を活用したチャレンジショップ型のサードプレイスは、地域とのつながりを深めながら、若者が実践的に学べる場として大きな可能性を持つものと感じています。 新規創業等の支援を所管する産業建設委員会と、若者の活動の場の整備などを所管する総務文教委員会とで連携し、サードプレイス設置の実現性について定住関係人口課など関係部署と協議してまいります。 【産業建設委員会】 ご提案の内容について、もう少し詳しくお話を伺いたいのので、井上さんのお時間が許せば、改めて意見交換を行いたいと思っています。また、その機会がつかれるのであれば、井上さんの周りで同じような思いをお持ちの方にも、ぜひ一緒にお話を伺いたいです。			